

三重県経済の現状と見通し<2026年4月>

1. 景気判断一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状			<p><b>持ち直しの動きがみられる</b></p> <p>企業活動などを中心に、持ち直しの動きがみられる。</p>
家計部門	個人消費			<p><b>回復に向けた動きがみられる</b></p> <p>勤労者世帯・消費支出は、2か月連続の前年比減少</p>
	住宅投資			<p><b>減少傾向にある</b></p> <p>住宅着工戸数は、2か月連続の前年比減少</p>
	観光			<p><b>回復している</b></p> <p>外国人宿泊者数は、13か月ぶりの前年比減少</p>
	雇用・所得			<p><b>持ち直し傾向が一服</b></p> <p>有効求人倍率(季節調整値)は、2か月連続の低下</p>
企業部門	企業活動			<p><b>回復している</b></p> <p>鉱工業生産指数は、6か月連続の前年比上昇</p>
	企業倒産			<p><b>悪化しつつある</b></p> <p>倒産件数は、2か月ぶりの前年比減少</p>
	設備投資			<p><b>持ち直しの兆し</b></p> <p>民間非居住建築物着工面積は、2か月ぶりの前年比増加</p>
海外部門	輸出			<p><b>持ち直しの兆し</b></p> <p>四日市港通関輸出額は、2か月連続の前年比増加</p>
公共部門	公共投資			<p><b>持ち直しつつある</b></p> <p>公共工事請負金額は、4か月連続の前年比増加</p>
その他	物価			<p><b>上昇している</b></p> <p>津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、50か月連続の前年比上昇</p>

当面の見通し	<b>物価高や世界経済の不透明感から、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し</b>
	個人消費の回復が期待される一方、イラン危機を背景としたエネルギー価格の高騰など世界経済を巡る不透明感は強く、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し。

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

:晴、:晴～曇、:曇、:曇～雨、:雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

:上方修正、:据え置き、:下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 中野
	電話:059-354-7102 Mail:33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向: 家計部門

個人消費	水準評価		⇒	詳細	回復に向けた動きがみられる
	基調判断	前月比較			

＜現状＞

- 個人消費は、回復に向けた動きがみられる。
- 個人消費の動向を支出者側からみると、2月の勤労者世帯消費支出(津市)は前年比▲9.8%と2か月連続の減少(図表1)。勤労者世帯可処分所得(津市)は同+2.6%と4か月連続の増加。
- 個人消費の動向を販売者側からみると、2月の大型小売店販売額(百貨店とスーパーの合計額)は、全店ベースが前年比+1.5%と12か月連続で増加した一方、既存店ベースは同▲0.2%と2か月ぶりの減少(図表2)。全店ベースを商品別にみると、飲食料品(同+1.5%)が16か月連続で増加し、全体を押し上げ。
- 3月の新車乗用車販売台数(含む軽)は、7,744台(前年比▲4.0%)となり、前年比で3か月連続の減少(図表3)。車種別にみると、小型車(同+2.4%)は4か月連続、軽乗用車(同+2.2%)は3か月ぶりに増加した一方、普通車(同▲12.0%)は6か月連続で減少し、全体を押し下げ。

＜見通し＞

- 東海地域の現状判断DI(内閣府「景気ウォッチャー調査」)をみると、3月の家計部門の水準は42.8と好不況の分かれ目となる50を3か月連続で下回った。2～3か月先の先行きに対する判断DIについては、41.0と前月(52.1)から低下し、好不況の分かれ目の50を2か月ぶりに下回った。所得環境の改善や株高による資産効果を受け、個人消費は回復する見通しであるものの、中東情勢を巡る不透明感や物価上昇への懸念が消費意欲を下押しする可能性には注意が必要。

◆2月 勤労者世帯・消費支出

○ 312千円 前年比 ▲9.8% (2か月連続の減少)

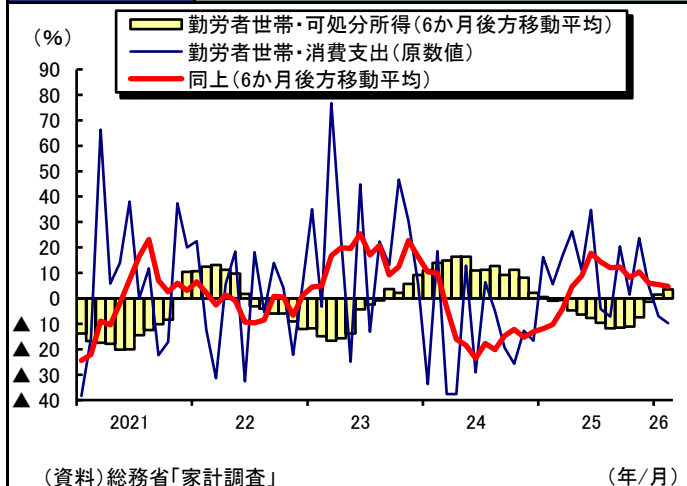
◆2月 大型小売店販売額

○ 全店 前年比 +1.5% (12か月連続の増加)  
○ 既存店 前年比 ▲0.2% (2か月ぶりの減少)

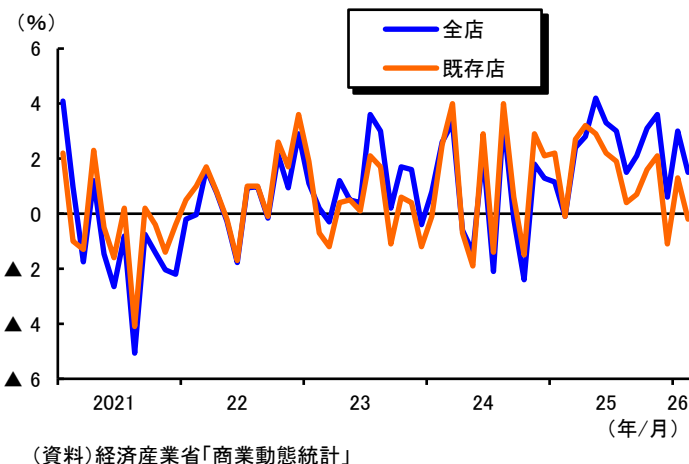
◆3月 新車乗用車販売台数<含む軽>

○ 7,744台 前年比 ▲4.0% (3か月連続の減少)  
・普通車 前年比 ▲12.0% (6か月連続の減少)  
・小型車 前年比 +2.4% (4か月連続の増加)  
・軽乗用車 前年比 +2.2% (3か月ぶりの増加)

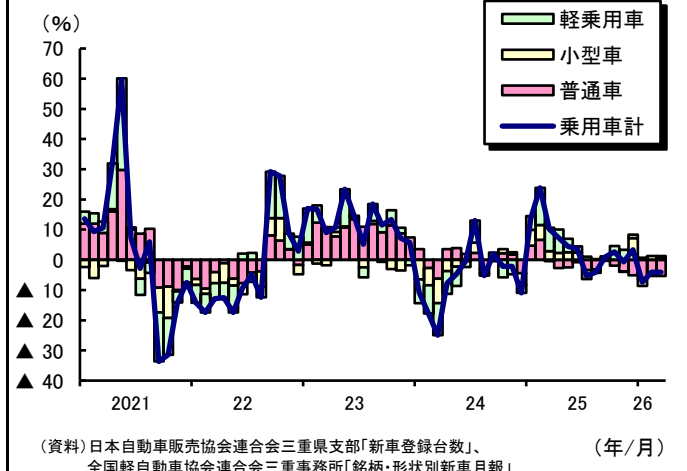
図表1 津市消費支出等<前年比>



図表2 大型小売店販売額<前年比>



図表3 新車乗用車販売台数<前年比>



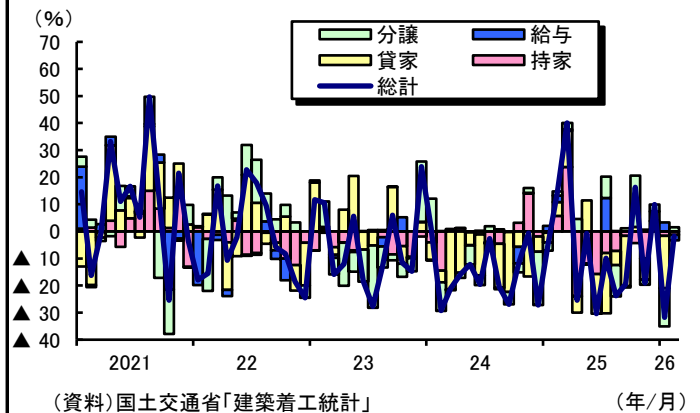
住宅投資	水準評価		☁️🌂		
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	減少傾向にある

**《現状》**  
 ○住宅投資は、減少傾向にある。  
 ○2月の住宅着工戸数は、565戸(前年比▲1.7%)となり、前年比で2か月連続の減少(図表4)。利用関係別にみると、分譲住宅(同+12.2%)が2か月ぶりに上昇、貸家(同±0.0%)が横ばいで推移した一方、給与住宅(同▲92.3%)で5か月ぶり、持家(同▲2.2%)が2か月連続で減少し、全体を押し下げ。  
**《見通し》**  
 ○先行きは原油高・ナフサ等の原材料の供給不足に伴う資材価格の上昇等を受けた住宅価格の上昇や住宅ローン金利の上昇懸念を背景として、住宅投資は弱い動きとなる見通し。

**◆2月 住宅着工戸数**

○ 565戸	前年比 ▲1.7%	(2か月連続の減少)
・持家	310戸	前年比 ▲2.2% (2か月連続の減少)
・貸家	171戸	前年比 ±0.0% (横這い)
・給与住宅	1戸	前年比 ▲92.3% (5か月ぶりの減少)
・分譲住宅	83戸	前年比 +12.2% (2か月ぶりの増加)

**図表4 新設住宅着工戸数<前年比>**



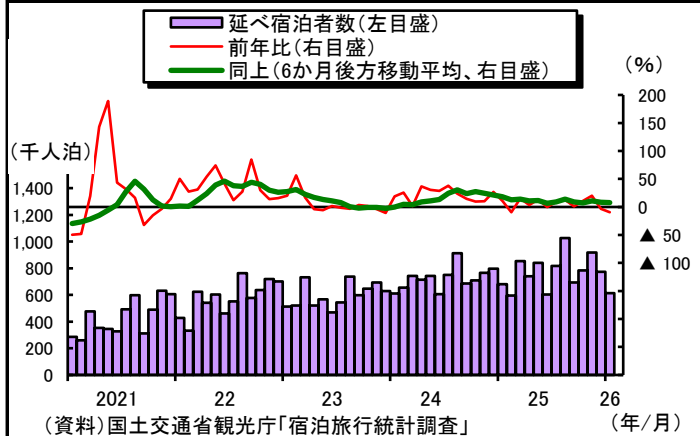
観光	水準評価		☀️☁️		
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	回復している

**《現状》**  
 ○観光は、回復している。  
 ○1月の三重県内施設延べ宿泊者数は、615千人泊(前年比▲9.6%)となり、前年比で2か月連続の減少(図表5)。外国人宿泊者数は中国人訪日客の減少を受け、15千人泊(同▲19.5%)と、前年比で13か月ぶりの減少。  
**《見通し》**  
 ○三重県の観光誘客推進本部は、三重県観光振興基本計画に基づき令和8年のアクションプランを公表。アクションプランでは、首都圏や関西圏等からの誘客促進を目指した情報発信や、第63回式年遷宮に向けたお木曳行事を生かしたプロモーション等を実施。日本人延べ宿泊者数を9,956千人とさせる目標を設定。

**◆1月 県内施設延べ宿泊者数**

○ 615千人泊	前年比 ▲9.6%	(2か月連続の減少)
・外国人	15千人泊	前年比 ▲19.5% (13か月ぶりの減少)

**図表5 三重県内施設延べ宿泊者数**



雇用・所得	水準評価		⇒	詳細	持ち直し傾向が一服
	基調判断	前月比較			

《現状》

- 雇用・所得情勢は、持ち直し傾向が一服。
- 2月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.14倍(前月差▲0.02ポイント)と2か月連続の低下。新規求人倍率(季節調整値)は、1.89倍(同+0.08ポイント)と4か月ぶりの上昇(図表6)。
- 2月の新規求人数は、学卒・パートを除くベースで前年比+0.2%と2か月ぶりの増加(図表7)。業種別にみると、製造業(同▲11.8%)では、電気機械(同+40.2%)やプラスチック製品(同+43.1%)が増加した一方、金属製品(同▲52.4%)、化学工業(同▲47.8%)などが減少。非製造業では、建設業(同▲15.1%)が減少した一方、サービス業(同+16.8%)や、生活関連サービス業、娯楽業(同+52.1%)等が増加。
- 1月の所定外労働時間指数は、前年比+8.1%と2か月連続の上昇。名目賃金指数(同+4.3%)は2か月連続で、きまって支給する給与(同+4.1%)は31か月連続で上昇(図表8)。

《見通し》

- 所得については、賃上げノルムの広がりや最低賃金の上昇、人手不足感の深刻化を受けて今後も幅広い業種で賃金上昇が期待される。

◆2月 求人倍率<季節調整値>

- 有効求人倍率 1.14倍  
前月差 ▲0.02ポイント (2か月連続の低下)
- 新規求人倍率 1.89倍  
前月差 +0.08ポイント (4か月ぶりの上昇)

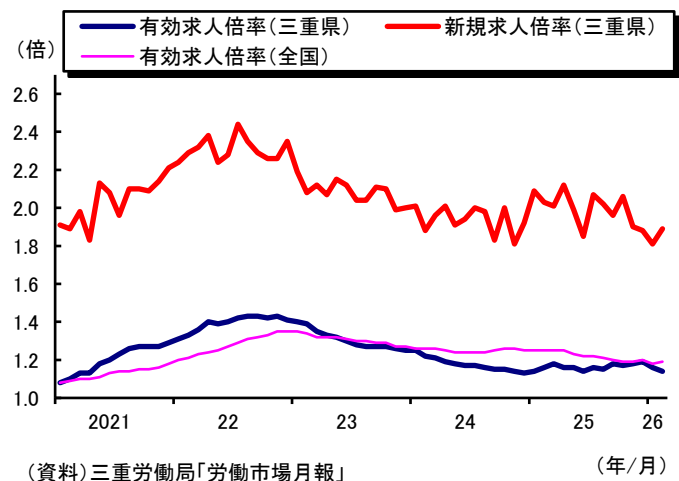
◆2月 新規求人数<学卒・パートタイム除く>

- 前年比 +0.2% (2か月ぶりの増加)

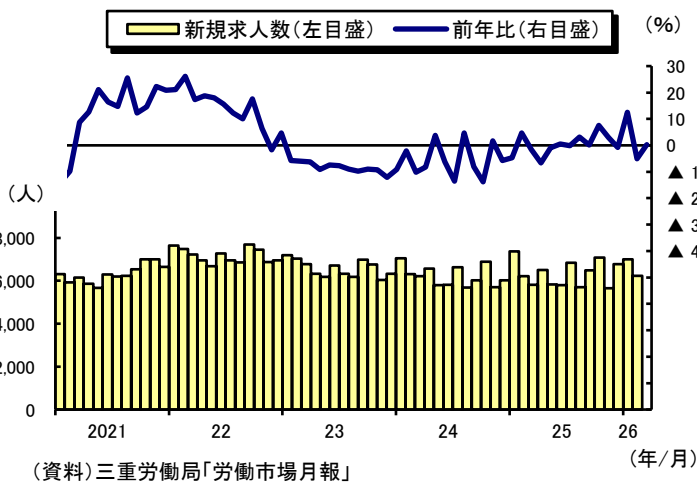
◆1月 労働時間・賃金指数<調査産業計>

- 所定外労働時間指数  
前年比 +8.1% (2か月連続の上昇)
- 名目賃金指数  
前年比 +4.3% (2か月連続の上昇)
- ・きまって支給する給与  
前年比 +4.1% (31か月連続の上昇)

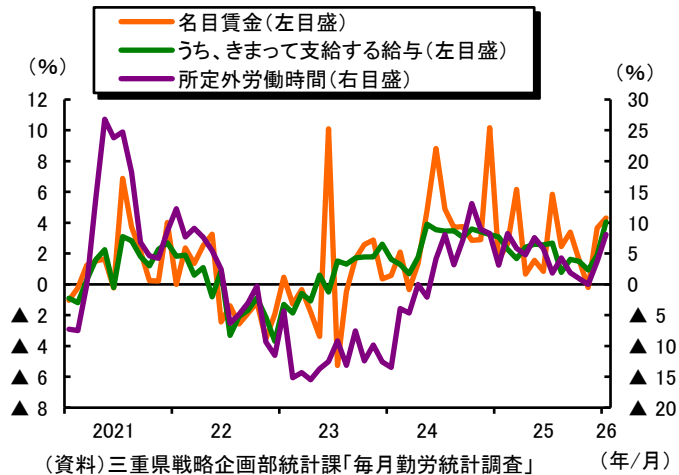
図表6 有効・新規求人倍率<季節調整値>



図表7 新規求人数<学卒・パート除く>



図表8 労働時間・賃金指数 <調査産業計、前年比>



### 3. 個別部門の動向: 企業部門

企業活動	水準評価		回復している		
	基調判断	前月比較	↗	詳細	
<p>☀ ☁</p> <p><b>《現状》</b>                      ○企業の生産活動は、回復している。                      ○2月の鉱工業生産指数は、前年比+27.7%と6か月連続の上昇(図表9)。業種別にみると、化学工業(同▲9.3%)などが低下した一方、電子部品・デバイス工業(同+146.8%)、汎用・生産用機械工業(同+11.3%)などが上昇。</p> <p><b>《見通し》</b>                      ○2025年12月に公表された世界半導体市場統計によれば、大手IT企業によるデータセンター向け投資は堅調であり、半導体市場は過去最高を更新する見込みであることから需要が旺盛な半導体を中心に先行き生産は、持ち直しの傾向となる見通し。                      ○カネソウ(朝日町)は朝日町の工場内に新たな工場を建設し、マンホール蓋などの建築分野に使う「鋳鉄器材」の生産体制を強化する。2026年中に本格稼働し、月間生産能力を2割増の約360トンに引き上げる。</p>					
<p><b>◆2月 鉱工業生産指数&lt;2020年=100&gt;</b></p> <p>○ 124.6 前年比 +27.7% (6か月連続の上昇)</p> <p>・汎用・生産用・業務用機械工業 前年比 +11.3% (3か月連続の上昇)</p> <p>・電子部品・デバイス工業 前年比 +146.8% (4か月連続の上昇)</p> <p>・輸送機械工業 前年比 +4.1% (3か月連続の上昇)</p> <p>・化学工業 前年比 ▲9.3% (2か月ぶりの低下)</p>			<p><b>図表9 鉱工業生産指数&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)三重県戦略企画部統計課「鉱工業生産指数」 (年/月)</p>		

企業倒産	水準評価		悪化しつつある		
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	
<p>☁</p> <p><b>《現状》</b>                      ○企業倒産は、悪化しつつある。                      ○3月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、件数は8件(前年比▲3件)と2か月ぶりの減少。負債総額は873百万円(前年差+589百万円)と8か月ぶりの増加(図表10)。</p> <p><b>《見通し》</b>                      ○中小企業の経営環境は、人件費の上昇や、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰、金利の上昇等を受け、厳しさを増しており、企業倒産は増勢基調をたどる懸念も。</p>					
<p><b>◆3月 企業倒産</b></p> <p>○ 倒産件数 8件 前年比 ▲3件 (2か月ぶりの減少)</p> <p>○ 負債総額 873百万円 前年比 +589百万円 (8か月ぶりの増加)</p>			<p><b>図表10 倒産件数・負債総額&lt;負債総額1,000万円以上&gt;</b></p> <p>(資料)㈱東京商工リサーチ津支店 (年/月)</p>		

設備投資	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶</p> <p>○企業の設備投資は、持ち直しの兆し。</p> <p>○2月の民間非居住建築物着工床面積は、56千㎡(前年比+163.7%)と前年比で2か月ぶりの増加。3月の貨物車登録台数(除く軽)は、489台(同▲5.4%)と前年比で7か月ぶりの減少(図表11)。</p> <p>◀見通し▶</p> <p>○台湾半導体大手の聯華電子の子会社のユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(横浜市)は、自動車やスマートフォン向けの半導体の生産能力を高めるため、三重工場(三重県桑名市)に約57億円を投じて設備投資を進めると発表。2027年1月より操業開始予定。</p>					
<p>◆2月 民間非居住建築物着工床面積</p> <p>○ 56千㎡ 前年比 +163.7% (2か月ぶりの増加)</p> <p>◆3月 貨物車登録台数</p> <p>○ 489台 前年比 ▲5.4% (7か月ぶりの減少)</p>			<p>図表11 設備投資関連指標&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)国土交通省「建築着工統計」、日本自動車販売協会連合会三重県支部「新車登録台数」</p>		

4. 個別部門の動向:海外部門

輸出	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶</p> <p>○輸出は、持ち直しの兆し。</p> <p>○3月の四日市港通関輸出額は、895億円(前年比+8.6%)となり、2か月連続の増加(図表12)。品目別にみると、有機化合物(同▲45.7%)などが減少した一方、石油製品(同+159.5%)や自動車の部分品(同+43.0%)などが増加。</p> <p>◀見通し▶</p> <p>○中東情勢の緊迫化に伴い、原油価格の高騰やナフサ等の石油製品の供給不足がアジアをはじめとした世界経済を押し下げた場合、先行き、輸出が下押しされる懸念も。</p>					
<p>◆3月 四日市港通関輸出額</p> <p>○ 895億円 前年比 +8.6% (2か月連続の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油製品 178億円 前年比 +159.5% (3か月連続の増加)</li> <li>・有機化合物 40億円 前年比 ▲45.7% (2か月ぶりの減少)</li> <li>・電気回路等の機器 57億円 前年比 +8.1% (20か月ぶりの増加)</li> <li>・乗用車 76億円 前年比 +21.5% (2か月連続の増加)</li> <li>・自動車の部分品 104億円 前年比 +43.0% (8か月連続の増加)</li> <li>・科学光学機器 2億円 前年比 ▲68.9% (11か月連続の減少)</li> </ul>			<p>図表12 四日市港通関輸出額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)名古屋税関四日市支署「管内貿易概況」 (年/月)</p>		

5. 個別部門の動向:公共部門

公共投資	水準評価				
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	持ち直しつつある
<p>◀現状▶ ○公共投資は、持ち直しつつある。 ○3月の公共工事請負状況をみると、請負件数は250件(前年比+4.2%)と3か月連続の増加。請負金額は277億円(同+69.3%)と4か月連続の増加(図表13)。請負金額を発注者別にみると、国(同+76.3%)、独立行政法人等(同+204.6%)、県(同+48.2%)、市町(同+78.2%)がそれぞれ増加。</p> <p>◀見通し▶ ○3月23日に三重県議会は8,929億円の2026年度一般会計予算を原案通り可決。前年度比+6.7%の大幅増でコロナ禍の2023年度8,371億円を大きく上回り過去最大となった。南海トラフ地震対策や川や砂防ダムの土砂撤去などが盛り込まれた。</p>					
<p>◆3月 公共投資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共工事請負件数 250件 前年比 +4.2% (3か月連続の増加)</li> <li>○公共工事請負金額 277億円 前年比 +69.3% (4か月連続の増加)</li> </ul>			<p>図表13 公共工事請負金額</p> <p>(資料)東日本建設業保証㈱三重支店</p>		

6. 個別部門の動向:その他

物価	水準評価				
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	上昇している
<p>◀現状▶ ○物価は、上昇している。 ○3月の津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は前年比+1.0%と50か月連続の上昇(図表14)。生鮮食品を除く食料(同+5.2%)や教養娯楽(同+1.5%)など、多くの項目で上昇。</p> <p>◀見通し▶ ○米などの食料品価格上昇の影響が減衰していくもとで消費者物価(生鮮食品を除く)は低下傾向で推移していく見通し。もともと、中東情勢の悪化を受け、原油価格が高騰するなど、今後の物価動向には注意が必要。</p>					
<p>◆3月 消費者物価指数&lt;生鮮食品を除く、2020年=100&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○110.7 前年比 +1.0% (50か月連続の上昇)</li> <li>・食料(生鮮食品を除く) 前年比 +5.2% (56か月連続の上昇)</li> <li>・住居 前年比 ▲1.4% (6か月連続の下落)</li> <li>・光熱・水道 前年比 ▲4.0% (4か月連続の下落)</li> <li>・交通・通信 前年比 +0.8% (3か月ぶりの上昇)</li> <li>・教養娯楽 前年比 +1.5% (39か月連続の上昇)</li> </ul>			<p>図表14 津市消費者物価指数&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)総務省「消費者物価指数」</p>		



### 1. 津駅周辺の公共自転車等駐輪場の有料化に向け整備 津市が管理事業者を募集

- 3月3日、津市は、津駅周辺の公共駐輪場の有料化などの整備に向けて、管理・運営などを担う民間事業者の募集を開始。整備対象の駐輪場は津駅西口近くの4か所、東口近くの1か所の計5か所。
- 利用者にとって安全性や利便性が高く、より快適な利用につながる適正に管理された有料の公共駐輪場の再整備を目指し、整序化を図るためのサイクルラックを設置するほか、新たにバイク駐車を整備する方針。
- 今後のスケジュールとしては、2026年8月に民間事業者の選定、同年9月に事業者と協定締結した後、2027年4月に整備工事に着手、12月に整備工事が完了し、2028年1月から運用が開始される予定。

### 2. 三重県鈴鹿市の磯山バイパスが全線開通

- 3月19日、鈴鹿市内で整備が進められてきた主要地方道鈴鹿環状線(磯山バイパス)が、全線で供用を開始。同バイパスは、海沿いの国道23号と内陸側の中勢バイパスを結ぶ全長3.5キロの県道。
- 現状の道路は狭隘で歩道も無く、朝夕には通勤渋滞が発生。同バイパスの整備により、渋滞の解消や沿線住民の安全・安心な道路環境が実現。また、国道23号から東名阪自動車道鈴鹿ICのアクセスが容易となり、物流の効率化や交通利便性の向上に期待。
- 開通に先立つ18日には現地で開通式が開催され、関係者がテープカットを実施。

### 3. 鈴鹿・F1日本グランプリの来場者が大幅増 3日間で30万人超

- 3月27日から29日にかけて、鈴鹿サーキットにて「F1日本グランプリ」が開催。鈴鹿サーキットを運営する「ホンダモビリティランド」によると、3日間で計約31万5,000人が来場。昨年から5万人弱増加し、開催地が鈴鹿に戻った2009年以降で初めて30万人を超過。
- ホンダモビリティランドの斎藤毅社長は「30万人を超えるお客さまをお迎えできたことをうれしく思う。今後もF1日本GPを通じて日本の魅力を世界へ発信し続けていきたい」とコメントを出した。
- 三重県はインバウンド誘致の好機と捉え、コースにプロモーション広告を掲出。大小の桜を散りばめたデザインとともに「Visit Mie」と記載。県は現地観戦者や国際映像の視聴者を通じ、約8,000万人へのPRを見込む。

以上

# 景気指標

三十三総研  
2026/4/30

## <三重県>

(注) ( )内は前年(同期(月))比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2024年	2025年	2025年			2026年	2025年		2026年		
			4~6月	7~9月	10~12月		1~3月	11月	12月	1月	2月
大型小売店販売額(全店)	( 0.7)	( 2.3)	( 3.4)	( 2.2)	( 2.3)		( 3.6)	( 0.6)	( 3.0)	( 1.5)	
同 (既存店)	( 1.1)	( 1.5)	( 2.8)	( 1.0)	( 0.8)		( 2.1)	(▲ 1.1)	( 1.3)	(▲ 0.2)	
新車販売台数(軽を除く、台)	54,634 (▲ 0.3)	53,830 (▲ 1.5)	11,842 (▲ 0.4)	12,917 (▲ 3.4)	13,096 ( 0.2)	14,350 (▲ 6.2)	4,516 (▲ 1.6)	3,948 ( 4.8)	4,300 (▲ 5.3)	4,791 (▲ 5.3)	5,259 (▲ 7.7)
うち乗用車販売台数(台)	48,294 (▲ 0.4)	47,663 (▲ 1.3)	10,655 ( 0.7)	11,421 (▲ 3.1)	11,491 (▲ 2.2)	12,750 (▲ 7.0)	3,953 (▲ 6.1)	3,429 ( 3.5)	3,833 (▲ 8.0)	4,279 (▲ 5.2)	4,638 (▲ 7.8)
新車軽自動車販売台数(台)	34,947 (▲ 12.0)	37,882 ( 8.4)	8,402 ( 9.9)	9,482 (▲ 1.7)	9,478 ( 6.4)	10,702 ( 1.7)	3,186 ( 4.7)	2,864 ( 4.9)	3,131 (▲ 1.5)	3,651 (▲ 0.6)	3,920 ( 6.8)
うち乗用車販売台数(台)	27,595 (▲ 11.1)	30,379 ( 10.1)	6,605 ( 12.9)	7,506 (▲ 1.9)	7,498 ( 8.4)	8,596 (▲ 2.0)	2,570 ( 9.1)	2,287 ( 2.9)	2,481 (▲ 6.4)	3,009 (▲ 2.4)	3,106 ( 2.2)
新設住宅着工戸数(戸)	7,751 (▲ 16.0)	7,342 (▲ 5.3)	1,594 (▲ 18.6)	1,727 (▲ 17.6)	1,839 ( 2.0)		513 (▲ 19.1)	576 ( 9.9)	490 (▲ 31.8)	565 (▲ 1.7)	
県内施設延べ宿泊者数(千人泊)	8,692 ( 21.1)	9,329 ( 7.3)	2,184 ( 6.0)	2,539 ( 8.0)	2,477 ( 9.0)		919 ( 20.1)	773 (▲ 3.1)	615 (▲ 9.6)		
有効求人倍率(季調済)	1.17	1.16	1.15	1.16	1.18		1.18	1.19	1.16	1.14	
新規求人倍率(季調済)	1.95	2.00	1.99	2.02	1.94		1.90	1.88	1.81	1.89	
新規求人数(学卒・パート除く、人)	74,467 (▲ 5.6)	76,049 ( 2.1)	18,133 (▲ 0.2)	19,011 ( 3.7)	19,511 ( 6.1)		5,650 (▲ 0.8)	6,776 ( 16.5)	6,997 (▲ 5.1)	6,229 ( 0.2)	
名目賃金指数(調査産業計)	( 4.5)	( 0.1)	( 1.0)	( 4.1)	( 2.2)		(▲ 0.2)	( 3.7)	( 4.3)		
実質賃金指数(同)	( 1.3)	(▲ 0.2)	(▲ 2.2)	( 0.9)	(▲ 0.6)		(▲ 3.3)	( 1.4)	( 2.7)		
所定外労働時間(同)	( 2.2)	( 3.9)	( 6.0)	( 2.6)	( 1.5)		( 0.0)	( 3.8)	( 8.1)		
常用雇用指数(同)	( 1.9)	( 0.1)	(▲ 0.2)	( 0.3)	( 0.3)		( 0.2)	( 0.6)	(▲ 0.5)		
鉱工業生産指数	( 0.4)	( 3.0)	( 1.9)	(▲ 1.6)	( 4.9)		( 5.1)	( 4.3)	( 21.5)	( 27.7)	
	-		< 8.1>	<▲ 4.8>	< 3.0>		<▲ 7.7>	< 2.5>	< 13.8>	< 5.8>	
生産者製品在庫指数	(▲ 8.9)	( 5.5)	( 12.2)	( 7.0)	( 3.5)		( 0.3)	( 5.8)	( 4.1)	(▲ 0.7)	
	-		< 13.2>	<▲ 0.7>	<▲ 5.0>		<▲ 2.6>	< 5.8>	<▲ 5.3>	<▲ 4.0>	
企業倒産件数(件)	135	123	19	43	28	29	8	12	10	11	8
(前年同期(月)比)(件)	( 5)	(▲ 12)	(▲ 12)	( 5)	(▲ 8)	(▲ 4)	(▲ 2)	(▲ 3)	(▲ 1)	( 0)	(▲ 3)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	574 ( 3.8)	698 ( 21.7)	228 ( 104.5)	305 ( 66.1)	72 (▲ 46.7)		26 (▲ 67.7)	21 ( 45.3)	25 (▲ 46.1)	56 ( 163.7)	
県内外国貿易 純輸出(百万円)	▲ 1,294,042	▲ 1,264,040	▲ 222,064	▲ 227,417	▲ 279,253	▲ 229,752	▲ 96,349	▲ 93,470	▲ 92,442	▲ 85,408	▲ 51,902
輸出(百万円)	1,133,799 ( 0.8)	1,153,636 ( 1.7)	270,934 (▲ 7.8)	269,425 (▲ 1.2)	297,963 (▲ 2.6)	305,255 ( 13.3)	95,656 (▲ 0.2)	98,545 (▲ 7.9)	95,544 ( 14.7)	99,932 ( 9.0)	109,779 ( 16.2)
四日市港 輸出(百万円)	1,091,240 ( 1.4)	1,111,102 ( 1.8)	247,223 (▲ 11.1)	245,955 (▲ 8.0)	286,433 (▲ 4.7)	260,937 ( 6.6)	95,295 (▲ 0.4)	98,545 (▲ 7.9)	83,272 ( 0.0)	88,182 ( 11.5)	89,483 ( 8.6)
輸入(百万円)	2,427,841 (▲ 0.9)	2,417,676 (▲ 0.4)	492,998 (▲ 23.9)	496,842 (▲ 23.8)	577,215 (▲ 6.9)	535,007 (▲ 14.3)	192,005 ( 3.6)	192,015 (▲ 20.0)	187,986 (▲ 13.8)	185,340 (▲ 12.9)	161,681 (▲ 16.2)
公共工事請負金額(億円)	2,004 ( 8.7)	2,105 ( 5.1)	792 ( 22.0)	687 ( 18.6)	336 (▲ 1.0)	467 ( 61.2)	86 (▲ 27.5)	94 ( 24.9)	78 ( 16.6)	113 ( 89.1)	277 ( 69.3)
津市消費者物価指数	( 2.4)	( 0.3)	( 3.1)	( 2.7)	( 2.5)	( 0.9)	( 2.7)	( 1.6)	( 1.2)	( 0.8)	( 0.8)
同 (除く生鮮)	( 2.2)	( 0.2)	( 3.2)	( 2.7)	( 2.5)	( 1.1)	( 2.6)	( 1.8)	( 1.5)	( 0.9)	( 1.0)

## <東海3県(三重・愛知・岐阜)>

	2024年	2025年	2025年			2026年	2025年		2026年		
			4~6月	7~9月	10~12月		1~3月	11月	12月	1月	2月
大型小売店販売額(全店)	( 2.7)	( 2.5)	( 1.6)	( 2.3)	( 3.9)		( 4.9)	( 1.8)	( 4.2)	( 6.2)	
同 (既存店)	( 3.2)	( 2.4)	( 1.7)	( 1.9)	( 3.3)		( 4.5)	( 1.4)	( 3.4)	( 5.1)	
新設住宅着工戸数(戸)	72,757 (▲ 1.0)	66,986 (▲ 7.9)	17,294 (▲ 3.3)	17,478 (▲ 5.8)	17,294 ( 26.5)		5,639 ( 2.8)	5,561 ( 2.8)	5,013 ( 2.5)	5,455 ( 2.7)	
有効求人倍率(季調済)	1.31	1.43	1.26	1.28	1.27		1.26	1.26	1.25	1.24	
新規求人倍率(季調済)	2.35	2.33	2.25	2.30	2.25		2.25	2.18	2.19	2.23	
鉱工業生産指数	(▲ 2.8)	( 2.0)	( 1.1)	(▲ 0.4)	(▲ 0.7)		(▲ 4.2)	(▲ 0.2)	( 1.6)	( 5.3)	
	-	-	<▲ 4.1>	<▲ 2.0>	< 2.2>		<▲ 6.1>	<▲ 0.5>	< 14.2>	<▲ 2.8>	
企業倒産件数(件)	868	916	224	189	224	251	61	97	102	87	62
(前年同期(月)比)(件)	( 69)	( 48)	( 1)	(▲ 31)	( 15)	(▲ 12)	(▲ 14)	( 23)	( 32)	( 10)	(▲ 11)
域内外国貿易 純輸出(億円)	99,393	101,373	29,399	24,198	29,399	24,534	9,373	9,872	5,550	8,501	10,484
輸出(億円)	225,311 ( 6.0)	228,849 ( 1.6)	61,052 ( 1.2)	55,834 (▲ 1.4)	61,052 ( 10.3)	58,275 ( 4.4)	19,414 ( 1.3)	20,820 (▲ 2.4)	17,005 ( 6.2)	19,701 (▲ 2.7)	21,568 ( 6.0)
輸入(億円)	125,918 ( 1.8)	127,476 ( 1.2)	31,653 (▲ 1.5)	31,636 (▲ 5.0)	31,653 ( 2.5)	33,741 ( 6.7)	10,041 ( 1.1)	10,948 (▲ 2.8)	11,455 (▲ 5.6)	11,201 ( 8.0)	11,084 ( 2.7)

各指標における直近の数値